

「門真市人口ビジョン（案）」及び「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する意見募集結果について

1. 案件名

門真市人口ビジョン（案）及び門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

2. 意見募集期間

平成 27 年 9 月 4 日（金）～平成 27 年 9 月 30 日（水）

3. 実施機関（庶務担当課）

(1)名 称：総合政策部企画課

(2)電話番号：06-6902-5572（直通）

4. 閲覧場所

企画課、情報コーナー、保健福祉センター、南部市民センター、門真市民プラザ、公民館、文化会館、図書館本館

5. 受付した意見等の件数

10 件（3 名）

6. 意見内容とそれに対する市の考え方

検討の結果、門真市人口ビジョン（案）及び門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の数値・文言の修正はいたしません。意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

	意見内容	意見に対する市の考え方
1	女性が仕事をしてお金を稼げて、貯蓄をできるまちにしてほしい	本市では、これまでから女性の活躍推進に取り組んでおり、この度の「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」におきましても、「女性が活躍できる場の創出」を基本目標のひとつとして位置付けています。 人口減少によって労働力人口が減少する中、本市の持続的な発展のためには、女性の果たす役割が非常に重要であると考えており、引き続

		き、女性の参画、就労等に向けた環境の整備に取り組んでまいります。
2	さつきがあふれるきれいなまちにしてほしい	<p>本市では門真市美しいまちづくり条例において、土地所有者に緑化の推進の努力義務を課しており、門真市緑化に関する指導要綱によって緑化基準を設けています。</p> <p>また、緑化活動を行う団体に花苗や苗木、園芸資材などを無料で配布し、緑化を推進しています。引き続き、市花のさつきを含めて、緑ゆたかであるおいある都市環境の創出を進めてまいります。</p>
3	<p>市の魅力を向上させるためハードウェア（目に見えるもの）：</p> <p>①道路幅の標準化を徹底し、違法建築（宣伝媒体を含む）を5年以内に排除する。</p> <p>②歩道（人間が自然に歩ける幅、雨天でも）にひさし（耐久性のある材質を使う）をつけることで、障がい者・高齢者・幼児（自転車）でも、通年（酷暑日を含む）で利用できるようにする。</p> <p>③物理的に、歩道を確保できないような道路は、車の通行を公の目的のものを優先に制限する。</p> <p>④物理的に双方向通行が不可能な道路は、歩道を確保した上で一方通行にする。</p> <p>⑤ひさしのメンテは民間に任せるが義務化し、広告収入を得られるようにすることで、市に負担をかけない。</p> <p>⑥高木の並木道を造る。5 km、10km、ハーフマラソンを催し、老若男女多くの人々に見てもらおう機会を作る。</p>	<p>本市では現在、防災力の向上、密集住宅の解消に向け、住宅市街地総合整備事業に取り組んでおり、その中で生活道路の拡幅や歩行空間を確保するなど、整備を進めているところです。</p> <p>道路幅の拡幅や歩行空間の確保、公共交通を優先した環境づくりにつきましては、「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」において、内外から「住みたい」と選ばれるまちづくり、安全・安心で快適に暮らせるまちの整備を基本目標のひとつとしており、今後より一層推進してまいります。</p>

4	<p>「東京一極集中」を是正し、国民・市民の生活水準を向上させるには人口密度の緩和が必須。</p> <p>世界の幸福度指数が常に高いのは、北欧及びカナダであり、これら諸国は汚職度指数も常に低い。</p> <p>自然条件を概観すると、冬が厳しく（比較的）長いため、夏がすばらしい。北海道を除く日本やアジアは、言うまでもなく夏が長く、極端に多湿であるため、縄文・弥生時代でない限り、今日の経済生活を支える生産性を維持する人類の生活には不適。</p> <p>北欧・カナダ及び先進国の諸都市の人口密度は、1,000人/km<sup>2</sup>未満が多い。密度が高いのは後進国諸都市の特徴であり、北海道を除く日本の多くの都市は、先進国ではなく後進国の特徴を示している。</p>	<p>ご指摘のとおり、日本は国土の狭さから人口密度は欧米諸国に比べて高い状態にあります。そのなかでも本市は、10,000人/km<sup>2</sup>を超える、全国でも有数の人口密度の高さとなっています。</p> <p>一方で、これから人口減少社会が本格的に到来すると言われ、年齢構成のバランスには注意する必要がありますが、一定の人口減少は避けられないと考えられます。</p> <p>本市ではこの機会を『『過密』から『ゆとり』へ転換する絶好の機会』ととらえ、「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」の作成にあたっては、ゆとりのあるまちづくりを基本的な考え方といたしました。</p>
5	<p>門真は空き家率が18%と全国平均の13%より高いことから、これを「負債」とみなすのではなく、「資産」（機会）として有効利用できるように法制（条例）を整備・施行すべき。</p>	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されているほか、門真市美しいまちづくり条例でも空き家の適正管理についての規定を取り入れています。</p> <p>全国的に空き家が問題となるなか、様々な活用方法が検討されているところです。本市としても、空き家問題を重要な課題であると認識しており、建築物の適正管理に関する施策を進めています。また、有効利用等に関する対策については、先行事例等を参考にしながら研究を進めたいと考えています。</p>
6	<p>門真市は、門真市中小企業サポートセンターによる門真市内のものづくり企業に対する支援、守口市、</p>	<p>本市では産業の振興を重点施策に位置付け、「中小企業サポートセンター運営事業」「ものづくり企業</p>

	<p>門真市、守口門真商工会議所、地域金融機関等で構成する「もりかど産業支援機関ネットワーク」による「創業支援事業計画」の策定など多様なビジネスの育成に努めているが、支援に対する具体的な施策（助成金制度・情報交換等）に独自性が少なく、門真市の企業から認識されず注目度が高いとは言えません。</p> <p>又、門真市における平成 26 年度の年間創業件数は 15 件の実績と記載されているが、門真市全体での数値であれば少なすぎる感覚があります。どの数値を参考に記載しているのか分かりませんが、創業には法人だけでなく個人も含まれます。又、その基準値から算出した平成 31 年度の年間目標値 39 件にも疑問があり見直すべきです。</p>	<p>ネットワーク事業」を中心に様々な事業に取り組んでいます。引き続きものづくり企業の支援を積極的に進めていくとともに、広く周知してまいります。</p> <p>創業支援については、「もりかど産業支援機関ネットワーク」構成機関が独自に、相談窓口を設置し個別支援を行っており、守口門真商工会議所では、創業塾なども実施しています。</p> <p>今後、さらに、創業しやすい環境を整備するために、「もりかど産業支援機関ネットワーク」の連携を強化し、具体的な支援施策についても検討していくとともに、周知に努めてまいります。</p> <p>また、創業件数につきましては、「もりかど産業支援機関ネットワーク」において、国の認定を受けた「創業支援事業計画」に位置付けられた「特定創業支援」を行ったうち創業に繋がったものが 15 件です。</p> <p>平成 31 年度の目標値につきましても、平成 26 年度に支援した実績に基づき、ネットワーク構成機関において計上した、創業件数の目標値（個人及び法人）をもとに算出しています。</p>
7	<p>門真市で優れた製品・技術をもつものづくり企業を「カドマイスター」と認定し、門真市の顔として売り込み販路拡大を促進し門真市の知名度向上と産業全体の振興を図ることについては、守口門真商工会議所・門真市中小企業サポートセンター・地域金融機関と連携し、積極</p>	<p>カドマイスター認定企業の販路開拓については、これまで、広報紙や市ホームページでの PR を中心に実施してきたところですが、今年度は、西日本最大規模の専門技術展である「関西機械要素技術展」へ認定企業による合同出展を行いと共に、認定企業 PR 冊子を作成し、全国の</p>

	<p>的に目標を達成させてほしいです。</p>	<p>展示会への配布などにより企業の事業拡大を進めているところです。</p> <p>守口門真商工会議所、門真市中小企業サポートセンターや地域金融機関等との連携についても、より一層強化し、企業支援に努め、目標を達成していきたいと考えています。</p>
8	<p>地域の拠点となる商店街については、地域の核とした機能を果たす為に、各商店街が魅力を発掘し、独自のコンセプトを持つ商店街としてブランド化を図り、地域内外から需要の引き込みを推進すると記載されているが、具体性がなく5年後の発展は現段階では想像できないです。</p>	<p>「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」では、主として目指すべき方向性や方針の記載を行っております。具体的な各事業の内容については、別途計画や事業プラン等を作成し取り組みます。</p> <p>商店街のブランド化については、商店街が継続的に発展していくために実施する、ブランド化に向けたプラン作成や各種イベント等に対し、補助金を交付するなどの支援を進めているところです。引き続き地域の拠点となる商店街の活性化に繋がる取組みとなるように進めてまいります。</p>
9	<p>門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略として「若い世代における出産・子育ての実現」「地域の魅力を向上し選ばれるまちへ」「産業の振興と女性が活躍できる場の創出」「住んで、幸せを実感できるまちづくり」を基本目標として審議会を重ね修正をされていますが、基本的な方針については賛成していますが、他の市町村に無い独自性を生かした創生総合戦略の発案と実行を期待します。</p> <p>特に産業振興については、製造業を中心に市域での労働生産性は高く、産業面におけるレベルは高水準</p>	<p>ご指摘のとおり、地方創生にあたっては、各自治体の強みを活かし、独自色を打ち出すことが望ましいと思われまます。一方で、各自治体において直面する問題が一定共通する部分があり、重要視する施策が似通ってしまうという課題があることも認識しております。</p> <p>「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」では、主に施策の方針や考え方に重点を置きました。具体の事業ベースでみる際に本市独自の取組があると考えています。</p> <p>例えば、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が難しい生</p>

	<p>である長所を生かした支援を門真市が継続できれば、就業率の向上を図ることができて、地域が活性化し人口減少にも一定の効果があると考えます。</p>	<p>徒に対して、学習塾を活用した学習支援を実施しているのは、市の独自施策と考えています。</p> <p>産業の振興についても、カドマイスター認定企業による西日本最大規模の専門技術展である「関西機械要素技術展」への合同出展を行うなど独自の施策を進めています。</p> <p>「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」において4つの基本目標のひとつとして、「産業の振興と女性が活躍できる場の創出」として打ち出しているところであり、今後も、施策に沿った独自性の強い効果的な事業を検討していきたいと考えています。</p>
10	<p>総合戦略を実現させる為には体制の改善は必要と思います。門真市だけでは難しく民間の協力体制のもと官民一体で真剣に考え実践しなければ、実現できない案件です。現在、官民での連携体制はあるものの、一定の距離があり情報の共有があまり出来ていなく感じます。総合戦略を本気で取り組むのであれば、情熱のある人材の配置と機動力を重視した新たな組織作りを実施し、その組織が中心となれば地方創生は可能であります。</p>	<p>現在地域が抱えている課題は、様々な原因からなる複合的なものです。行政が単独で行うものだけでなく、民間団体や市民等地域の力を結集し、産学官金で協働して取り組むべきテーマが種々に存在すると考えており、諸課題の解決に向け、積極的に情報の共有を図っていきたいと考えています。</p> <p>庁内の組織体制については、副市長をはじめ、教育長や教育次長、各部署局長等を構成員とした総合戦略の推進組織を立ち上げているところであり、総合戦略における各施策を横断的かつ迅速に取り組んでまいります。</p>